

勾当台・定禅寺通エリアビジョン（中間案）に対する 意見の概要と本市の考え方について

（１）エリアの位置付けと現状等に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
1	現在の道路やエレベーター等の設備は、高齢者が歩くには不便であり、豊かさを感じられるものではない。	勾当台・定禅寺通エリアの魅力を高めるうえで、エリアに豊富に存在する道路空間や公園等の公共施設・公共空間を、交流やゆとりを楽しめる場とするとともに、これらの空間の利活用促進が重要であると考えております。高齢者をはじめ、様々な方が快適に歩くことができる空間づくりについて、頂戴したご意見も参考とさせていただきますながら、検討を進めてまいります。
2	エリアの課題「まちに出たくなる、訪れたい魅力をもつ」がむなし。今のままでいい。道路は人や車の往来する場所。道路に車が走らない、最終的に歩きでしかアクセスできないビジネス街に魅力を感じない。歩道に屋台やテーブル・椅子を並べると、不法な滞在者が発生し、駐車場の商売も成り立たなくなる。	勾当台・定禅寺通エリアの魅力を高めるうえで、エリアに豊富に存在する道路や公園等の公共施設・公共空間を、交流やゆとりを楽しめる場とするともに、利活用することが重要であると考えております。現在、定禅寺通活性化推進事業の中で、車線削減や歩道の利活用についても検討を進めておりますが、頂戴したご意見も参考とさせていただきますながら、今後、具体化を図ってまいりたいと考えております。

（２）まちづくりの理念に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
3	勾当台・定禅寺通エリアは青葉城に関係する旧市街に属すると考えられ、100年後も歴史の香りが漂うような景観であるべき。そのためにも建築や交通、経済活動に制限を設けることや、精神的にゆとりある時空間とすること等が必要。古いものを大切にこそ、新たな発展に意義がある。	本ビジョンにおけるまちづくりの理念、「“交流”と“ゆとり”を楽しむところ～みんなで育む“仙台の庭”～」は、これまでの歴史も踏まえたエリアの個性・強みに基づくものでございます。今後、具体的な取り組みについて検討を進めるにあたり、これまで積み上げてきたエリアの個性・強みをさらに磨き上げることで魅力を高め、仙台らしさや新たな価値を生み出すエリアを目指してまいります。
4	都心全体の回遊性を意識して個性・強みを磨くことについて企画の参考事例があれば示してほしい。例えば仙台城下の用水路沿いに城下跡を廻るトレッキング等、仙台固有の都市特性を鑑賞できる独創性豊かな企画の実施を期待する。	頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。
5	交流とゆとりを楽しむところ～みんなで育む仙台の庭～という言葉では、多くの人や投資を呼び込むフレーズとして物足りない。熱が感じられる表現が良い。民間の活動を行いやすい規制緩和や誘導施策により多くの人を呼び込み、人がつくりだす出来事やコンテンツが主導するまちづくりを展開できるよう、文化・交流、芸術等をより強く位置付けてほしい。	本ビジョンにおけるまちづくりの理念、「“交流”と“ゆとり”を楽しむところ～みんなで育む“仙台の庭”～」は、これまでの歴史も踏まえたエリアの個性・強みに基づくものでございます。また、施策の方向性として、多くの人々や民間投資を呼び込むことを位置付けており、取り組みの方向性に、文化芸術や・市民活動や大小のイベント開催の日常化といった記載をしており、今後、頂戴したご意見も参考とさせていただきますながら、取り組みを進めてまいります。

No.	意見の概要	本市の考え方
6	自然な人の交流が起こる場所は都会では少ない中、定禅寺通の店舗のテラスではそれが起こっているように感じる。 今の姿の中に、小さな魅力や違和感を探し集めることは、エリアを良くするための最初の過程として意味があることだと思う。	定禅寺通では、定禅寺通活性化検討会において会員有志による日常的な賑わい作りを目指した取組みを進めており、本ビジョンの理念の具体化にもつながるものと考えております。 今後、具体的な取組みについて検討を進めるにあたり、これまで積み上げてきたエリアの個性・強みをさらに磨き上げることで魅力を高め、仙台らしさや新たな価値を生み出すエリアを目指してまいります。

(3) 施策等の方向性に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
7	勾当台・定禅寺通エリアでのイベントについて、開催時間等のルールを守るとともに、特に音楽イベントの際は周辺住民への騒音対策を重視してほしい。	エリアの魅力を高めるためには、人々の協働による多彩な活動が重要であり、本ビジョンの取組みの方向性においても、大小のイベント開催の日常化という記載をしております。イベント開催の際は、適切にルールを守るなど、周辺住民へも配慮したものとなるよう、留意してまいります。
8	旧三井アーバンホテル跡地について、周辺の景観と調和するような建物となることが、勾当台・定禅寺通エリアにとって重要である。	建物と景観の調和を図ることは、このエリアの魅力向上において重要な要素であると考えており、公・民が協働し、街並みの一体性や空間の連続性を高めていくことを記載しております。 この方向性の下、頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。
9	エリアにとって市民会館、県民会館等の文化施設は重要であり、このエリアの中で機能代替することを考えるべき。	市民会館、県民会館は、多くの方々に利用され、周辺に賑わいをもたらすなど、勾当台・定禅寺通エリアで大きな役割を果たしてきた文化施設であると考えております。頂戴したご意見も参考とさせていただきますながら、宮城県等とも連携し、今後、将来の利活用に向けた検討を進めてまいります。
10	市役所本庁舎の建て替えに関連し、周辺の分庁舎の売却や利活用について早期に検討に着手すべき。検討するのに早すぎることはない。	北庁舎及び錦町庁舎については、本ビジョンにおいて、これらを活かしてまちづくりに取り組む方向性を記載しておりますが、新本庁舎整備後も継続使用する上杉分庁舎を除く、二日町分庁舎及び国分町分庁舎につきましても、本ビジョンの理念や施策等の方向性を踏まえ、利活用等の検討を進めてまいります。
11	公・民が協働して街並みの一体性を高めることは大変重要なことだと思う。民間再開発が動き出す前に、ビジョンの周知を徹底するとともに、取組みを早く具体化してほしい。 このエリアの再開発では、容積率緩和や補助金などと引き換えに、緑化や公開空地など、より多くの条件を付加して構わないと思う。	頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。 また、本ビジョンの周知を十分に行い、より多くの方々の協働の下で取組みの検討が進められるよう、留意してまいります。
12	勾当台・定禅寺通エリアビジョンには、伊達政宗の都市計画ビジョンとランドデザインの遺構として残存する、400年もの歴史遺産（四ツ谷用水や貞山堀）、また、戦災からの再生や市民運動の象徴である定禅寺通というインフラを踏まえた創造・企画要素が、さらに明確に盛り込まれるべきである。	本ビジョンにおけるまちづくりの理念、「“交流”と“ゆとり”を楽しむところ～みんなで育む“仙台の庭”～」は、これまでの歴史も踏まえたエリアの個性・強みに基づくものでございます。 今後、具体的な取組みについて検討を進めるにあたり、これまで積み上げてきたエリアの個性・強みをさらに磨き上げることで魅力を高め、仙台らしさや新たな価値を生み出すエリアを目指してまいります。
13	現在の県民会館周辺に、市民活動による戊辰戦争や第二次世界大戦からの再生を踏まえた、養賢堂の往時の威容が再生されることを望む。	頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。

No.	意見の概要	本市の考え方
14	<p>多方面から定禅寺通に向かう人の流れができなければ、定禅寺通の賑わいは一過性のものに留まる。イベントは人の流れがあれば必ず付いてくる。</p> <p>現在の県民会館や市民会館の土地の利活用が、人の流れを呼び起こすものであれば、メディアテークに肩を並べるような施設が建設されれば、ケヤキ並木もさらに魅力を増し、定禅寺通の活性化は達成されると思う。</p>	<p>市民会館、県民会館は、多くの方々に利用され、周辺に賑わいをもたらすなど、勾当台・定禅寺通エリアで大きな役割を果たしてきた文化施設であると考えております。頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、宮城県等とも連携し、今後、跡地の利活用に向けた検討を進めてまいります。</p>
15	<p>イベントを基軸にリピーターを掘り起こし、定着化していくことが重要。</p> <p>お金を出してもぜひ参加したい、行きたいと思える場所にするため、イベント参加特典や税制優遇等の具体的メリットでイベント参加の障壁を下げる。</p> <p>合わせてクラウドファンディングの寄付金付きメニューの開発等、新しい事業資金調達手法により、いつでもどこでも誰でも参加できる街づくりを行うべき。</p>	<p>頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。</p>
16	<p>このエリアが魅力ある「仙台の庭」になることを望むが、高層ビルのイメージには違和感がある。ケヤキの植生や東日本大震災の教訓を踏まえ、高層ビルから距離を置くことが、仙台らしい価値であると考えます。</p> <p>多くの建物の1階軒先部分が通りと一体化する景色は魅力的。派手な看板には規制をかけてアイレベルの街並みの魅力を高め、集客はMaas等に移行すれば、多くの来訪者を惹きつけるようになると思う。</p>	<p>定禅寺通に接する街区については、既に「定禅寺通街並み形成ガイドライン」（本ビジョンでは12ページに概要を掲載）により、建築物の形態や用途、外壁の意匠や素材、広告物の意匠や形態等、景観形成のルールが定められており、これらのルールが一体感創出の基礎となるものと考えております。</p> <p>また、エリアの魅力を高めるには、多くの人々を呼び込み、交流を生み出していくことが重要と考えており、取り組みの方向性として、エリアへのアクセスを容易にするMaasの活用等を記載しております。</p>
17	<p>持続可能なまちとするために、定禅寺通はバスと搬入車両などに限定することを提案したい。</p> <p>タクシーの駐車場を通りの端の方に設けてアイドリングストップをお願いし、通りの空いた空間を別の用途に転用する。高齢者等がゆとりをもって安心して歩けるようなエリアにすると、世界から選ばれるまちになると思う。</p>	<p>エリアの魅力を高めるうえで、様々な方が快適に歩けるまちになることは重要なものと考えており、本ビジョンの施策等の方向性において、公・民が協働し、街並みの一体性や空間の連続性を高めていくことを記載しております。また、定禅寺通では、地元の方を中心とする定禅寺通活性化検討会において、会員有志により日常的な賑わい作りを目指した取り組みを進めており、令和3年に予定している車線規制を伴う大規模社会実験における道路空間利活用の実践・検証を踏まえ、会員の皆様等と道路空間のあり方を検討していくこととしております。今後の具体的な取り組みについては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、検討を進めてまいります。</p>
18	<p>勾当台・定禅寺通エリアを快適な空間とし、安心して交流とゆとりの時間を満喫できるようにするためには、タバコ被害の無い健康エリアを目指すしかない。</p> <p>公園や路上の禁煙化と違反者への過料、タバコ広告・販売の禁止、公的な喫煙所の撤去、禁煙相談所の設置といった政策が必要。</p>	<p>頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。</p>
19	<p>勾当台・定禅寺通エリアはポテンシャルの高い、杜の都のシンボリックエリアであるが、平日は人通りが少なく、多くの人々が目的を持ち来訪するよう、定禅寺通の雰囲気合った街づくりをする必要がある。</p> <p>その定禅寺通の核となるのは県民会館であり、県民会館が移転する場合、市が主体性を持って跡地の利活用を検討し、何らかの集客施設を考えていただきたい。</p> <p>今後、民間投資・公共投資の相乗効果により、多くの市民が楽しみ、時間を消費する街づくりを展開してほしい。</p>	<p>県民会館は多くの市民・県民に利用され、周辺に賑わいをもたらしており、その跡地の利活用は、このエリアの将来像に大きな影響を与えていると考えております。エリアの活性化に資する利活用策について、県とも緊密に連携しながら、本市として主体的に検討を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	本市の考え方
20	街並みの一体性や空間の連続性を向上させる取り組みについて検討を進めるにあたり、景観の一体感を創出できるよう、看板や標識デザイン・色、建築物の外観の連続性を担保する設計・素材利用（基調とする色や建築材など）へも言及し、例として示してほしい。	定禅寺通に接する街区については、既に「定禅寺通街並み形成ガイドライン」（本ビジョンでは12ページに概要を掲載）により、建築物の形態や用途、外壁の意匠や素材、広告物の意匠や形態等、景観形成のルールを定め例示しており、これらのルールを踏まえることで、一体感創出につながるものと考えております。
21	勾当台・定禅寺通エリアを日常的に人が集まる憩いの場とするため、今後の具体的な計画で、定禅寺通周辺の土日午後等の歩行者天国の実施、エリア内の法的拘束力を含む禁煙ゾーン・ポイ捨て禁止ゾーンの制定・条例化を検討してほしい。	エリアの魅力を高めるうえで、様々な方が快適に歩けるまちになることは重要なものと考えており、本ビジョンの施策等の方向性において、公・民が協働し、街並みの一体性や空間の連続性を高めていくことを記載しております。また、定禅寺通では、地元の方を中心とする定禅寺通活性化検討会において、会員有志により日常的な賑わい作りを目指した取組みを進めており、令和3年に予定している車線規制を伴う大規模社会実験における道路空間利活用の実践・検証を踏まえ、会員の皆様等とエリアの日常的な賑わいの創出につながる取組みについても検討していくこととしております。今後の具体的な取組みについては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、検討を進めてまいります。
22	公共施設や周辺民間施設の更新等にあたり、近代化以前の杜の都・仙台のイメージを大事に考え、古い建築物はできる限り修復して残し、街並みを保存すること、また、大規模な移転や巨大建築物の建設はなるべく避け、コストを抑えることも意識して計画することを意識してほしい。 仙台市はリトル東京を目指しているように見え、誇るべき仙台らしさが失われているように感じる。	本ビジョンにおけるまちづくりの理念、「“交流”と“ゆとり”を楽しむところ～みんなで育む“仙台の庭”～」は、これまでの歴史も踏まえたエリアの個性・強みに基づくものでございます。 今後、具体的な取組みについて検討を進めるにあたり、これまで積み上げてきたエリアの個性・強みをさらに磨き上げることで魅力を高め、仙台らしさや新たな価値を生み出すエリアを目指してまいります。
23	車が多く、スピードも出る道路わきの歩道でゆっくりとした時間を過ごすことは難しい。理念に掲げる「ゆとり」を本当に実現するならば、道路を歩行者中心の空間へ転換する以外に道はなく、それをビジョンにも記載すべき。	歩行者を惹きつけるまちづくりは、エリアの魅力向上にとって重要であると考えており、施策の方向性の中で、「道路空間再構成等における、滞在を楽しむストリートづくりを意識した歩道や沿道の空地等がシームレスに繋がる空間の創出」といった記載をしております。今後、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、検討を進めてまいります。
24	定禅寺通活性化の社会実験について、多額の経費で実験する必要性が疑問。活性化のためには魅力ある路面店が増えることが最も重要。市に誘致してほしい。	令和3年度に予定しております大規模社会実験は、定禅寺通エリアの将来像の検討に生かすことを目的として、道路空間再構成や歩行者空間の多様な利活用を試行し、その影響や効果を検証するものです。 定禅寺通の活性化に向けては、社会実験で実施する内容のほか、ご意見にあります魅力ある路面店が増えることも重要と考えており、そうした視点も含めて、現在、地元関係者等と議論を進めているところです。頂戴したご意見も参考にしながら検討を進めてまいります。
25	定禅寺通の中央緑道に季節の花々を植え、安全な遊具を置き、親子で歩きたくなる風景が欲しい。	定禅寺通中央の緑地においては、これまで交差点脇に設けた花壇で花の修景を行い、「仙台おもてなし花壇」として維持管理に事業者の皆様のご協力をいただいております。今回、頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。

No.	意見の概要	本市の考え方
26	定禅寺通について、住宅は1、2階に店舗や病院を配置すべき。様々なものが目に入ると、シニア層がまちなかを散歩するようになり、最高だと思う。	頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。 なお現在、定禅寺通に接する敷地の建築物については、街並みの連続性に配慮し、賑わいのある商業・業務施設、文化施設等の立地を図るため、「地区計画」により定禅寺通に面する低層階部分の住宅や集合住宅等の建築を禁止し、「定禅寺通街並み形成ガイドライン」（本ビジョンでは12ページに概要を掲載）の誘導指針として、1、2階は店舗やサービス業務など多くの人々が利用できるような用途の誘導に努めることとしております。
27	あまり外部からのアクセスのイメージが入っていないように思う。アクセスの拠点の配置、地下鉄駅の生かし方、バス経路の再検討、車の混雑回避対策等は重要なポイントである。	エリアの魅力を高めるには、多くの人々を呼び込み、交流を生み出していくことが重要と考えており、取り組みの方向性として、エリアへのアクセスを容易にするMaaSの活用等を記載しております。 今後、頂戴したご意見も参考とさせていただきますながら、検討を進めてまいります。
28	大地震、水害等の防災に対する機能についても、計画に入れ込むことが重要だと思う。	本市は、防災環境都市として、官民で協働した防災の取り組みを進めており、今後、エリア内で行われる公共施設の更新など、具体的な取り組みを進める際にも、防災の観点も踏まえた検討を行ってまいります。
29	勾当台・定禅寺通エリアを芸術・文化のまちとしてさらに発展させるため、音楽ホールを県民会館跡地に建設、あるいは新市庁舎との併設を再度、検討してはどうか。	音楽ホールは、楽都仙台の中核拠点として、仙台国際音楽コンクールなどの、本市が多くの市民とともに培ってきたイベントのほか、これまで開催が困難であった大規模な大会などを開催することを目指しており、立地場所の絞り込みにつきましては、現在検討を行っているところでございます。県民会館跡地につきましては、敷地面積の点で課題があるものと考えておりますが、今後、本市が目指す音楽ホールのあり方やこのエリアの活性化策等を踏まえながら、音楽ホールの適切な立地場所について検討を進めてまいります。 また、新市役所本庁舎は4月より基本設計に入っており、現市役所本庁舎の耐用限界の超過リスクの点を踏まえると、音楽ホールとの併設は困難であるものと考えております。
30	県民会館に隣接する民有地と一体で、音楽ホールと戦災復興記念館の後継機能や震災復興のメモリアル機能を併せ持つ文化観光交流施設とすることも検討してはどうか。	音楽ホールは、楽都仙台の中核拠点として、仙台国際音楽コンクールなどの、本市が多くの市民とともに培ってきたイベントのほか、これまで開催が困難であった大規模な大会などを開催することを目指しており、立地場所の絞り込みにつきましては、現在検討を行っているところでございます。県民会館跡地につきましては、敷地面積の点で課題があるものと考えておりますが、今後、本市が目指す音楽ホールのあり方やこのエリアの活性化策等を踏まえながら、音楽ホールの適切な立地場所について検討を進めてまいります。 また、中心部震災メモリアル拠点については、昨年、外部有識者による検討委員会から報告書が提出され、それらを踏まえながら、立地も含め、検討を進めているところでございます。

No.	意見の概要	本市の考え方
31	定禅寺通における定常的な歩行者の賑わいを創出するための空間づくりを可能とする規制緩和や条例の改正や新設を検討してはどうか。	定禅寺通では、定禅寺通活性化検討会において、会員有志により日常的な賑わい作りを目指した取組みを進めており、令和3年に予定している大規模社会実験でも、車線規制を伴う道路空間利活用の実践・検証を実施したいと考えております。 また、近年の道路空間利活用のニーズの高まりを受け、道路法の改正などニーズを実現しやすくする制度の拡充が進められており、それらの活用も視野に入れながら、定禅寺通エリアの魅力向上に資する道路空間の利活用を検討してまいります。
32	公開空地についても道路と一体となった賑わい空間としての活用を可能とするための規制緩和や新たな条例の改正や新設を検討してはどうか。	魅力ある街並みの創出を目指し、道路や公園などの公共空間に面する民間敷地における、賑わいや憩いなどの創出に向け、ガイドラインを作成中です。 公開空地に限らず、民間敷地内の賑わいや交流のための空間の創出を求めていきたいと考えており、景観計画における建築物の高さ基準の緩和要件である一定の空地と緑化の確保に加え、人々が滞留できるような空間の確保を求めるとし、特に、質の高い空間を創出する場合は、インセンティブとして必要な空地の割合を低減することを検討しております。
33	起業家や芸術家が安価に活用できる拠点・作品発表の場として、市民会館の利活用を検討してはどうか。起業家や芸術家を積極的に呼び込むことで若者の働く場や芸術文化の発信地としての訴求力を高めることに繋がる。	エリアの魅力を高めるためには、人々の多彩な活動を支援促進することが重要であり、本ビジョンの施策の方向性においても、多くの人々や民間投資を呼び込むことを位置付けており、取り組みの方向性に、文化芸術・市民活動や大小のイベント開催の日常化といった記載をしております。 なお、市民会館は老朽化が著しく、音楽ホールの整備後にあつては、施設の更新を行わない方向で検討することとしており、その跡地につきましては、勾当台・定禅寺通エリア全体の考え方の中で、まちの活性化に資する利活用を検討してまいります。
34	国分町エリアでは、ナイト・エンターテインメントの性格は維持しながら、定禅寺通と交差する街区については昼間でも多様な世代が安心、安全に過ごす事ができるまちづくりが重要。その目的に合致した施設の建設や改修に対する費用補助や減税等の支援施策を検討してはどうか。	定禅寺通においては、みどりや心地よさを踏まえた「ゆとりある雰囲気」も重要な要素と捉えており、家族連れの方々も含め、多くの人々がまちに出たくなる魅力を高めていきたいと考えております。 また、国分町エリアにおいては、これまで、一方通行化や無電柱化と併せた歩道整備など、安全・安心に飲食を楽しむことができるまちづくりを進めてきました。現在、定禅寺通活性化検討会において、エリアの価値や魅力の向上につながる取組みを行っており、これら官民連携の取組みも活用しながら、国分町界隈の賑わいづくりを、さらに進めてまいります。
35	一年中イベントが行われている街を目指し、既存イベントも含む、多彩なイベントの開発、企画、運営に活用することを目的とした「宿泊税」の導入を検討してはどうか。	本市においては、令和2年1月に「仙台市交流人口拡大財源検討会議」を設置し、交流人口拡大に向けた施策やその規模と併せて、宿泊税を含む新しい財源のあり方について検討してきました。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により宿泊事業者をはじめとする観光関連産業に深刻な影響が出ていることから、令和2年3月に検討を休止しており、今後、感染の状況などを踏まえながら、しかるべき時期にそのあり方などについて検討する必要があると考えています。

(4) 重点ゾーンと空間イメージに関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
36	市役所業務の簡素化により新本庁舎の使用面積を縮小し、その代わりに市民集会スペースを増床し、市民広場や駐車場等とともに賑わいや憩い、防災といった機能を高めてはどうか。 コストに制約はあると思うが、ランニングコストを考慮しながら、未来を取り込んだ設計とすることが肝要である。	市役所本庁舎の建て替えにおいては、特に、新本庁舎低層部や敷地内広場、勾当台公園市民広場との一体的利活用に関して、本ビジョンを踏まえ、具体化に向けた検討を行うこととしております。 各事業の一体性向上の手法や施設の仕様等について、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、今後、具体的な検討を進めてまいります。
37	早期のビジョンの実現を切望する。 勾当台公園について、市民広場だけでなく憩いのゾーンも、野外音楽堂等のリノベーションを中心に、市民や遠方から訪れる人が楽しめる環境としていく必要がある。 今後、ビジョンに基づくプロジェクトが動き出す際には、是非お手伝いさせていただきたい。	勾当台公園（市民広場や憩いのゾーンを含む）につきましては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。また、このエリアの魅力を高めるためには、官民協働によるまちづくりが重要と考えており、今後、幅広い方々にご協力をいただきたいと考えております。
38	勾当台公園について、きれいな空気環境をつくるべき。車を制限して排気ガスを軽減、公園の全面禁煙と灰皿撤去を行うべき。 また、市民が憩いやすいテラス付きのカフェ、夏場に日差しを遮るようなもの、清潔で使いやすく、外観も仙台市に相応しいトイレも合わせて整備すべき。	勾当台公園（市民広場を含む）につきましては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。
39	花壇等が美しい勾当台公園には、子どもも大人も集まるため、喫煙者が集まらないように喫煙所設置に反対する。 また、トイレを新しくして、日よけスペースを設けてほしい。	勾当台公園（市民広場を含む）につきましては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。
40	かつて、定禅寺通の由来である「定禅寺」や勾当台の由来の「勾当」花村政一の屋敷があったが、それらの遺構すらなく、この地の由縁を説明することができない。 公園・道路・商業施設を含めた区域を、文化歴史的な面を含め多層的に理解・共有することは、シビックプライドの醸成に繋がり、今後未来へ向けての街づくりに寄与する。よって、当地の由来を、簡素な体裁ではなく、現存する資料写真図版を用いて詳細に説明する解説版設置を提案する。また、解説版設置に際して資料提供含めた協力を行いたい。	本ビジョンにおけるまちづくりの理念、「“交流”と“ゆとり”を楽しむところ～みんなで育む“仙台の庭”～」は、これまでの歴史も踏まえたエリアの個性・強みに基づくものでございます。 この理念の下、今後、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、勾当台公園再整備再整備をはじめとした、取り組みの検討を進めてまいります。
41	勾当台公園のように世界中から人が集まる場所に、新型コロナウイルス対策の観点から閉鎖されつつある喫煙所があることはとても恥ずかしい。屋外でも喫煙所では必ず受動喫煙が生じる。勾当台公園の敷地を禁煙にし灰皿を撤去すべき。	勾当台公園（市民広場を含む）につきましては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。
42	勾当台公園・市民広場のトイレが不足している。洋式化とともに、授乳やオムツ替えも可能な仕様で整備すべき。 イベント時に仮設トイレで対応するのでは、コスト的にも景観的にも良くない。	勾当台公園（市民広場を含む）につきましては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。
43	勾当台公園・市民広場でのイベントに向け、電気設備増設を望む。現状は発電機等での対応であり、騒音や経費の観点から好ましくない。同時に、イベント主催者との電気料金の精算や支払い方法についても検討してほしい。	勾当台公園（市民広場を含む）につきましては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。
44	勾当台公園・市民広場にAEDを設置してほしい。	勾当台公園（市民広場を含む）につきましては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。

No.	意見の概要	本市の考え方
45	勾当台公園・市民広場の給排水設備・水飲み場等を充実してほしい。	勾当台公園（市民広場を含む）につきましては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。
46	勾当台公園・市民広場が、人々が憩える空間となるよう、温もりのある木製ベンチを増設してほしい。	勾当台公園（市民広場を含む）につきましては、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。
47	中間案には、勾当台公園・市民広場の災害時対応の視点がない。イベント開催中であれば避難対応が必要になるし、そもそも広域避難場所となっている。公園地下や地下鉄駅構内に災害時物資等の備蓄が必要だと思う。	勾当台公園再整備の検討に向け設置した有識者による懇話会において、勾当台公園の再整備に向けた視点として、「防災時に対応した空間としての機能確保」が示されているところであり、今後、頂戴したご意見も参考とさせていただきながら、再整備に向けた検討を進めてまいります。
48	健康宣言のようなイメージも入れ込んでどうか。運動するスペース、メンタル的に休養できる空間づくり、子供や親の健康教育の場等、健康宣言のようなイメージを入れてはどうか。計画全域の全面禁煙等で、仙台市の喫煙対策への意欲を示しても良いのではないか。	頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。
49	県庁側に比べ、市役所側には緑が少ない。県民会館の土地を市で取得して、第一生命ビルの土地と交換し、緑を整備してはどうか。定禅寺通からの景観も良くなると思う。	頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。

(5) 策定後の展開に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
50	このエリアでは、仙台市の様々なプロジェクト動いているが、担当部署が分かれている。各プロジェクトの最終目標は共通すると思うので、それぞれの部署が横の繋がりを保つよう、しっかりと今後の調整をお願いしたい。	頂戴したご意見を踏まえ、第4章の策定後の展開として、庁内の連携強化に関する記載を追加します。
51	定禅寺通のことを考えるに当たり、青葉通の人の流れの呼び起こしが必須。仙台駅前に人を留めてしまう原因は、青葉通と東二番丁通の交差点にある。その地上歩道の再開が手っ取り早い「人の流れの回復」につながり、青葉通の活性化とともに定禅寺通へのアクセスの見直しにも繋がる。地上レベルで、青葉通の歩道が仙台駅から一番町まで繋がれば、西公園通も含め、定禅寺通へ抜ける動線が街歩きを選択肢になる。	本ビジョンは、勾当台・定禅寺通エリアにおける、「人々がまちに出たくなる、訪れたい魅力をも高める」ことで、都心全体の回遊性の向上にも寄与することを意図したものでございます。今後、他のエリアとともに、居心地がよく、歩き廻りたくなる環境の整備についても検討を行い、このエリアの都心回遊における拠点性を高めてまいりたいと考えております。
52	仙台市役所の建て替え計画は既に進んでおり、これがビジョンに影響するのか、または、ビジョンの内容によって市役所の計画変更もあるのか、特に今後の展開がよく分からない。	本ビジョンは、市役所本庁舎の建て替えや定禅寺通活性化等、現在検討が進んでいる事業における共通の目標となるものであり、「“交流”と“ゆとり”を楽しむところ～みんなで育む“仙台の庭”～」とのまちづくりの理念は、先行する各事業の考え方等も踏まえたものでございます。また、市役所本庁舎の建て替えにおいては、特に、新本庁舎低層部や敷地内広場、勾当台公園市民広場との一体的利活用に関して、本ビジョンを踏まえ、具体化に向けた検討を行うこととしております。頂戴したご意見を踏まえ、第4章の策定後の展開に関する表現を、上記の趣旨が伝わりやすいように修正いたします。
53	外国人や障がい者に対して配慮のあるやさしいものとなってほしい。	本ビジョンにおけるまちづくりの理念、「“交流”と“ゆとり”を楽しむところ～みんなで育む“仙台の庭”～」は、人々の多彩な交流や、ゆとりある雰囲気、多様な主体の協働といった、このエリアの強みを踏まえたものあり、今後も、多様な人々が楽しめる、魅力があるまちづくりに取り組んでまいります。

(6) その他の意見

No.	意見の概要	本市の考え方
54	このビジョンを評価しない。 人が増えていることなど信用できない。 仮に人が増えているならこのビジョンは不要なはず。	就業者数、居住者数とも、5年に1度行われる経済センサス及び国勢調査結果に基づく数値であり、増加傾向が確認できる内容となっております。 また本ビジョンは、就業者数・居住者数が増加する中で減少する近隣の歩行者通行量に着目し、「まちに出たくなる、訪れたい魅力をもたせる」との課題を整理したものであり、魅力向上を図るためのまちづくりの理念や、本市の施策等の方向性を示す、意義のあるものだと考えております。
55	勾当台公園付近に交番を誘致してほしい。	頂戴したご意見は、今後、本ビジョンに関連する事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。